

CONTENTS

特集 普及啓発活動	2
7区通信	6
就業先情報 (早良区)	15
ワンコインだより	16
会議開催状況	17
実績報告/事故発生状況	18
歴史散歩 (城南区)	19
互助会だより	20
会員のひろば/表紙写真募集	22
出張所移転のお知らせ	23
事務局からのお知らせ/編集後記	裏表紙

シルバ だより

きつと、もつと、これから。



秋季大祭流鏝馬式(飯盛神社)

流鏝馬は狩衣姿の武者が疾走する馬の上からのめがけ、矢を放つ心技体ともに高度な集中力を要する勇壮かつ神聖な行事で、約400年の歴史があるといわれ福岡市指定無形民俗文化財です。

写真提供：小田泰三会員 (早良区)

公益社団法人 福岡市シルバー人材センター

特集

福岡市シルバー人材センターが取り組む 普及啓発・就業開拓活動について

センターでは、平成 25 年度事業計画において、普及啓発活動・就業開拓活動として、次のような取り組みを行うこととしています。

普及啓発活動

1 広報活動

- ・高齢者の入会促進や就業機会の確保を図るため行政機関等の発行する冊子への広告掲載、センターが発行する機関誌やホームページを活用した広報。
- ・シルバーフェスティバルの開催や各種イベントへの参加による広報。
- ・商店街やショッピングモール周辺等におけるチラシ配布等の普及啓発キャンペーン。
- ・就業開拓員による広報活動。

2 社会参加活動

- ・海岸や河川敷、公園や霊園等の清掃。
- ・有償ボランティア事業「ワンコインお助け隊」の実施（平成 25 年 7 月より）



「普及啓発」活動について

専任担当理事（普及啓発担当） 桑野 孝春

「普及啓発」とは、福岡市に公益社団法人福岡市シルバー人材センターという団体がありますよと、一般の市民・企業等にその存在と業務（請負、派遣）及びその具体的な内容について広く知っていただくことだと思います。その手段方法としては、

①市政だより等の宣伝媒体を通じての広報

②地域密着の普及啓発として、各区でのイベントや行事への参加による広報

RKB ラジオまつりは恒例となっていますが、もっと地域密着を重点に各区でのお祭・イベントへの積極的な参加 PR 活動

③キャンペーンの実施（チラシ・リーフレット配布等）

現在、人が多く集まる場所での街頭キャンペーンを行っています。地域との共生ということで地域・各校区の一般家庭を対象としたチラシ・リーフレットの配布といった PR 活動には、地域班長や会員の皆様の協力が必要です。

④就業開拓員 7 名による広報活動

一般家庭・企業等へのリーフレットのポスティング、区役所や公民館など公共施設等の人が多く集まる施設等へのチラシ・リーフレットの設置はもちろんのこと、業務（請負、派遣）とその具体的な内容の説明。まだ認知度が十分でない子育て支援や、家事福祉サービス分野では、具体的な内容周知の為に区役所（子育て支援課、地域保健福祉課等）や地域包括支援センター等情報提供依頼先へ訪問。自治協議会、民生、児童委員協議会、老人クラブ等の会議やふれあいサロン、子育てサロン等々の集まりでの PR 活動といった「普及啓発」への取組を行っています。

又、7 月より開始の「ワンコインお助け隊」事業については、特に今年度は重点的な普及啓発活動が必要かと思っています。会員一人一人が「普及啓発」の活動に御理解いただき、一人でも多くの方が就業の機会を得られるよう、会員の皆様方の御協力よろしくお願い致します。

就業開拓活動

- 1 刈払・除草・剪定業務に関する講習会を各出張所で開催し、就業会員を増やし受注の拡大を図る。
- 2 女性会員の就業機会拡大のため、家事援助に関する講習会を開催し、質の高い就業を提供することができる会員の育成を図る。
- 3 センターの取り扱う仕事を一般家庭や企業等に周知し、新規発注者からの依頼を獲得するため、各出張所に就業開拓員を1名配置（計7名）する。

各出張所の就業開拓員は、企業、事業所、公民館などの公共施設の訪問や民生委員の会合等に参加し、シルバー人材センターで引き受けることが可能な就業の開拓及び「ワンコインお助け隊」事業のPR活動を行っています。

東

区

就業開拓員

石川 昌子

就業開拓員として、2年経過いたしました。1人でも多くの方にシルバー人材センターを知って頂くことが、就業開拓につながっていくと思います。

- 民生児童協議会の会議に参加し、「ワンコインお助け隊」事業のPR及びシルバー人材センターの案内
- 各公共機関への定期的訪問をし、事業案内及びパンフレット設置依頼
- 一般企業への訪問を実施し就業の拡大
- 病院・不動産会社への訪問及び事業案内
- 東区どなたく広場でのパンフレットの配布
- 各会議参加の会員にパンフレットの配布依頼
- 各家庭へのポスティング

厳しい現状の中でも多くの会員が就業できます様に、地域に密着した取り組みをしていきたいと思っています。

博多

区

就業開拓員

池田 光雄

2013年度の活動にあたり、自治協議会・社会福祉協議会・民児協・公民館・老人クラブ連合会は勿論のこと、一般企業においても普及啓発に取り組んだ成果が出てきた様に思われます。

チラシのポスティング、寺院・商店等の清掃、幼稚園・保育園・小中学校の賞状書き等の発注は、シルバー事業を理解頂いた結果だと思えます。

又、7月1日より新規事業の目玉として「ワンコインお助け隊」事業がスタートしました。

それには、区役所支援課・自治協・社協・民児協・老人連合会・公民館等のご協力を得て、利用者の皆様に喜ばれ、現在は人員も増えてきています。

今後もシルバー事業の普及啓発に尽力したいと思っています。

昨年、就業開拓員となって以来、力を注いで来たのは新規就業、新規顧客の獲得で、主としてスーパーやビル管理会社・不動産会社等の企業の訪問を重ねています。

そこで知らされる事は、企業のハードルの高さです。それは企業の取引業者登録制度の存在であり、企業が要求する作業品質、就業者の年齢条件、作業料金等です。これらの要求の多くはシルバーの枠組みに抵触し、それに応える事は難しいのが現状です。

以上の困難さは有りますが、企業への就業開拓はそこからの仕事が継続性を持ち、複数の会員の就業が期待出来る事から今後共、積極的に取り組んで行きたいと思います。

これから地域に貢献するシルバーとして、家庭からの仕事を通して地域の安定・発展に貢献する事が求められており、私達もその意識を持って日々の就業に携わって行く事が大切であると思います。

お客が企業であれ、家庭であれ、評価されるシルバーを目指して行くことが大切です。その為には就業者の意識と作業品質を今以上に高めて行く努力が必要だと思います。現場で就業される会員と就業開拓員及び事務所が心一つにして、無くてはならないシルバーの構築に邁進する時にシルバーの将来は明るいと確信するものです。

就業開拓業務にかかわって1年3ヶ月が過ぎました。この1年を振り返ってみますと、自治協議会・民児協・包括センター・社会福祉協議会・シニア会などの会議や地域会長会議に積極的に参加して、シルバー人材センターの普及啓発に努めてまいりました。

しかし「日暮れて道なお遠し」の感があり、その上期間が3年間と限定されている為に就業期間中に会員に対して何か効果のある結果が残せるだろうか？と焦りに似た気持ちに陥ります。就業開拓業務の効果は開拓員が訪問した企業から直接の申込みでない限り効果は判然としないし、南区の場合は企業数が少ない為、仕事の申込みは個人や官庁からが多いので、個人に対してはポスティングの頻度を増やし、区役所や公民館に対しては訪問回数を増やして、シルバーのパンフレット掲示の継続をすることで普及啓発を図っています。

これからの目標として以下の事を実行していきます。

- ①「ワンコインお助け隊」事業の普及啓発を通して、公共機関の出先機関である各校区の役員会を訪問し校区役員会議に出席して、年間1000人以上の校区役員の人々にシルバー人材センターの普及啓発を図ります。
- ②一般家庭には、シルバー人材センターの普及啓発を図るためのポスティングに力を注ぎます。
- ③小・中学校・幼稚園・保育園へのアプローチを図り「卒業証書・卒園証書」の申込みの拡大や幼稚園・保育園からの朝・夕方の園児の見守り等の就業の機会をいただく為の訪問を行います。

今後私の出来ることを実行していき、限られた期間内に出来る限りの可能性にチャレンジし、最大の効果が得られるよう頑張ります。

城南

区

就業開拓員

金子

優

私の就業活動

昨年の6月に就業開拓を担当し1年6ヶ月が経過致しました。その間に、

1. 一般企業への受注拡大を図る為の訪問。
2. 区役所・公民館・市民センター等、公的機関の訪問。
3. 自治協・民児協・社協・いきいきセンター等、団体組織への訪問。
4. 一般家庭への訪問（ポスティング）。

を重ねてきました。とりわけ一般家庭へのアプローチには力を入れてきました。1年と6ヶ月間に延べ3万2千世帯の家庭を訪問し、シルバーのメッセージを伝えて来ました。その成果は今後少しずつ現われて来るものと信じていますが、現在も子育て支援・家事援助・剪定・草取り等一般家庭からの注文が増えているのが今後の活動の励みになっています。今一番遅れている作業が一般企業の受注拡大です。区の特徴かも知れませんが、請負として働ける企業が少なく苦戦しています。しかし派遣制度を活用し受注に成功している例もあり、今後これを参考に拡大に努めます。城南区は住宅区です。狭い面積の中に住宅が密集していて直接家庭へのアプローチがしやすい状況にあります。今65歳以上の人口が4人に1人の時代でもあり、家事援助・福祉・子育て支援の分野が我々シルバーに求められている就業と思い、積極的に普及活動が続けていきます。自治協・民児協・社協・いきいきセンター等の力も借りながら家庭訪問（ポスティング）を重ね、シルバーのメッセージを送り続けます。

早良

区

就業開拓員

天野

俊貴

普及啓発への活動

1人でも多くの会員の皆様に、希望に応じた就業の場が提供できるよう、さまざまなところへ訪問し、シルバー人材センターのPRと受注拡大に努めています。

シルバー人材センターの存在と、就業内容が世間一般に十分に周知されていると言えないので、一人でも多くの人に知っていただくための重点方策の一つとして、各公民館で開催される高齢者の集まりである「熟年教室」・「シルバーカレッジ」・「ふれあいサロン」等に出席させていただき、リーフレットの他に自分で作成した「申込みがあった事例」・「お困り事はないですか」等を配布し、シルバーの紹介と、周知されていると言えない家事援助・子育て支援等についてどのようなことをしているかの具体的な例をあげて紹介しています。特にお願いしていることは、皆様に限らず、お知り合いの方で日常あるいは臨時のお困り事をお持ちの方にシルバーの紹介をしていただきたいと。

関係者と友好関係を保ち、人が集まる場に積極的に出席させていただき、新規発注の開拓と既存発注者への継続受注・リピーター確保を目指し、就業率アップに努めています。

西

区

就業開拓員

加藤

健一

就業開拓は、一人でも多くの会員に、その希望に応じた就業機会を確保、提供という目的のための活動であります。4月から、この仕事に就いて6ヶ月になります。25年度の就業開拓基本方針を念頭に区役所、公民館、地域包括センター、公共施設などの訪問を中心に、名刺配りで顔を覚えてもらうことと、リーフレットの配布や情報収集などの活動をしています。

7月からスタートした、「ワンコインお助け隊」事業のPRは、反応が出てくるたびにやる気に駆られるようになってきました。又、10月の街頭キャンペーンでは、子育て人材育成支援事業実行委員会(西区役所)主催の子育てフェスタに参加して、普及啓発活動をします。さらに、リーフレットのポスティングを計画しています。地域の会員の方々や事務所の皆様のご協力を得て、地域に浸透する取り組みとなることを期待しています。

7区通信

東

区

ひがしく

本部安全パトロール実施



7月31日(水) 9時30分より松尾理事、井上理事、渕事務局長、堤業務第2課長、吉田職員と石崎委員長、広田副委員長(安全担当)のメンバーで安全パトロールが実施されました。巡回地域は、奈多2丁目の剪定作業、香椎4丁目の剪定作業でした。

点検の結果は事故に繋がる点はなく、安全作業であると認められました。

茶毒蛾が発生しているのので、作業前の確認と対策のお願いがありました。

役員会開催



8月22日(木) 10時30分から2階会議室で地域班長30名、職群班長7名の出席のもと役員会が開催されました。

石崎委員長のあいさつに続き、広田副委員長から安全適正就業について報告がありました。

今後の活動予定として、10月12日にJR香椎駅周辺・千早駅周辺・箱崎駅周辺において、普及啓発の街頭キャンペーンが行われます。

また、10月19・20日にRKB放送会館前広場において『シルバーフェスティバル2013』が開催されます。この会場で、手芸品の展示販売などが行われる予定です。

東区花火大会ボランティア清掃

9月7日(土)に東区花火大会が開催され、翌日のボランティア清掃に地域・ボランティア団体等で約600名の参加があり、東出張所の会員も40名余りが参加しました。約1時間の作業できれいな海岸になりました。



東区交通安全の集い開催



9月20日(金) 午後2時からコミセン和臼において、区民を対象とした高齢者の交通安全・飲酒運転撲滅を推進し、多発する交通事故の防

止を図る交通安全の集い（主催：東区交通安全推進協議会、東福岡交通安全協会、東警察署、東区役所）が下記の内容で開催され、東出張所からも 20 名余りが参加しました。

- ・ 県警教育班による寸劇
- ・ 交通安全落語
- ・ 高齢者交通安全講話

広報委員 安武 和芳

博多

区

はかたく

アジア美術館班会議開催



第 2 回アジア美術館班の定例会議が 9 月 11 日（水）10 時から博多出張所会議室で開催されました。

倉岡委員長はじめ宮本担当、下司班長、香月リーダー他 20 名の班員が出席して行われました。

下司班長の会議開始の挨拶で始まり、倉岡委員長の挨拶がありました。

I 倉岡委員長挨拶要旨

① ワンコインお助け隊について報告

7 月 1 日開始以降、作業項目 20 項目中のごみ出し等 5 項目についての申し込み

があり徐々に浸透してきています。これからも一人でも多くのボランティア会員を増やしていきたいので、会員の登録をお願いします。

② 8 月までの事業運営実績の報告

アジア美術館班の実績は、前年対比 100%前後で推移しています。アジア美術館の就業は人気があります。就業している会員の努力のおかげです。

③ 安全就業・健康についての心構え

いつまでも働ける身体をつくり、健康に気を付けて過ごしましょう。

II 宮本担当より下記の通り説明がありました。

① 安全・適正就業についてのスローガンの紹介

“10 日就業、10 日ボランティア、10 日余暇（休養）”

② 班員同士のコミュニケーションの意識高揚 互助会の親睦旅行、歴史探訪、ハイキング等に参加してください。

③ 福岡市が推進する高齢者の「見守りダイヤル」の紹介 080 - 9100 - 0883

III 4 班の各リーダーから業務報告

就業上の心構え等の発表があり、現状の問題点、改善点等のディスカッションが盛んにおこなわれました。

下司班長から、就業については勉強が必要であり、お互いが思いやりの心を持って、正しい言葉遣いや適切な挨拶が必要だと周知がありました。

委員長からは、各班のローテーションの組み替えがあってもいいのではないかとの提案もありました。

会員の全員が明日からの就業に向けて決意を新たにしました。

駐輪場正副リーダー会議開催

9 月 11 日（水）博多出張所会議室で、倉岡委員長をはじめ前田副委員長、下河内班長、13 名の正副リーダーが出席して、標記の会議が開催されました。

前田副委員長の会議開始の挨拶につづき、倉岡委員長の挨拶がありました。



I 委員長挨拶要旨

- 駐輪場の運営実績は、博多全体の1/4弱を占めています。これは主要な就業先です。
- 7月1日開始以後の「ワンコインお助け隊」事業は、作業項目20項目中5項目の受注があり、徐々に浸透しています。未登録会員は登録をお願いします。
- 安全・適正就業について
オリンピック開催まで7年、目標が出来たので健康に気を付けてみんなで感動を味わいましょう。

II 協議内容について

- 各駐輪場の基本方針推進状況についてリーダーより報告がありました。
- 苦情・トラブルの検証があり、処理の方法や再発防止等が検討されました。
- 雑餉隈駅前駐輪場移転について、リーダーより現状報告がありました。
- 駐輪場間の移動・移行等は、運営上必要であれば進めていきたいです。
- 就業年限については規約の通り推進をしていきたいです。

その他、駐輪場の管理運営上の問題点やお客様対応の改善点、利便性等活発な意見の応酬がありました。

広報委員 木本 盛之

中央

区

ちゅうおうく

役員会開催 ～祝!30周年、育てよう!シルバーの芽～



8月23日(金)午前10時から、中央出張所役員会が開催されました。

1. 岩男委員長の挨拶

配分金実績報告では7月末現在、累計で予算と比較して113%になり、過去何年かはマイナス数字でしたが、今年度は順調に推移しております。

ただ就業別にみると、減少している職群があります。福祉サービスでは、適正就業により撤退せざるをえない就業先がありました。しかし、福祉サービスは家事援助・子育て支援と共に、今後伸びを期待している職群の1つです。

もう一つは会員数が減少し、今期の目標を割り込んでいることです。就業の場が増えれば会員も増加すると思っております。

このような状況を踏まえ、新たな民間の開拓が当面の課題です。現在、就業開拓員を中心に取り組んでおりますが、役員の方も就業開拓にご協力をお願いします。

2. 樋口理事から

家事援助、福祉サービス、子育て支援などの就業状況を把握するため、各出張所を巡回しております。

私が常日頃、一番心配していることは民間の就業を伸ばしていかないとシルバー人材センターの存続に影響を及ぼしかねないということです。会員一人一人がPRし、仕事を増やすこ



とです。

また、先ほど委員長からも報告があったように、会員の減少傾向に歯止めをかけるためにも、役員の方々のご協力を是非お願いします。

3. 首藤安全・適正就業担当から

25年度事故発生状況を資料により説明がありました。会員一人一人が決められたルールを守り、安全確認を徹底するよう特に強調されました。

4. その他報告事項と予定

- 事務所移転は、シルバーだより 131号（8月）掲載の通り 11月18日に決定しました。
- 山田副委員長、谷原事務補助員が9月末をもって退任されます。
- 地域懇談会、「ワンコインお助け隊」事業の実施状況について説明がありました。
- 家事援助サービス班全体会議は10月1日実施予定です。
- 親睦旅行を10月役員会に諮り、シルバーだより10月号に同封予定です。

広報委員 井手上 勉

南

区

みなみく

地域懇談会開催

(弥永①②・弥永西・日佐・横手校区)

9月9日（月）午前10時から弥永公民館で、平田委員長、江頭・實藤両副委員長、的野安全担当、西野就業開拓員、荒木互助会代表幹事ほか会員27名が参加して、地域懇談会が開催され

ました。

前田浅松班長の開会の挨拶の後、全員の自己紹介があり議題に入りました。

委員長より下記の項目について説明がありました。

1. 南出張所の現状

(1) 事業実績報告（25年4月～7月累計）

配分金の実績		(千円)
全 市	548,520	(前年 541,082)
南出張所	77,235	(前年 76,006)

(2) 会員数（7月末現在）

全 市	6,916人	(前年 7,105人)
南出張所	1,099人	(前年 1,083人)

男性719人・女性380人です。

(3) 新規入会者（8月13日現在）

	南出張所			全 体		
	男性	女性	計	男性	女性	計
入会者	6	4	10	41	13	54
退会者	10	8	18	89	33	122
計	▲4	▲4	▲8	▲48	▲20	▲68

(4) 事故の発生状況（7月末現在）

	全 市	南出張所
傷害事故	4件	0件
賠償事故	5件	2件
自動車事故	3件	1件
合 計	12件	3件

全市、南出張所ともに、昨年同月より減少しています。

2. 連絡事項

- 街頭キャンペーンは10月18日午前10時から実施します。（大橋駅前と高宮駅前）
- 『シルバーフェスティバル2013』に多数の参加をお願いします。

日時：10月19日（土）、20日（日）

10：00～16：00

場所：福岡市早良区百道浜2-3-8

（RKB放送会館前広場）

- 健康診断の受診をしたら出張所に報告書を提出してください。
 - 互助会行事への参加要請
歴史探訪は天神まち歩き（9月26日）、能古島ハイキング（10月17日）、芸能大会（2月）、日帰り親睦旅行（11月6・7・8日）予定です。
 - 3. 南出張所への要望・意見交換
 - 今年度の地域懇談会には参加者が増えています。電話での連絡が功を奏しました。
 - この時期は剪定・除草・刈払・家事援助など多忙であるので、参加者が減少していて残念でした。
 - シルバーだよりには、必ず目を通してください。あまり読まないと聞いたことがあります。これではシルバーの情報が得られません。
 - 日帰り旅行の立案・計画・実施は、互助会業務委員と会員で企画委員会を立ち上げ、希望の場所を決定する予定です。
 - 地域懇談会の開始時間を午後にしたら、女性会員の参加も増えそうです。
- 〈委員長よりお願いとまとめ〉
- 南出張所に対する意見や要望はいつでも受けますので、南出張所へ気軽にお出かけください。共に意見交換しあう中で、明るい展望が見えてくると思います。
 - 「ワンコインお助け隊」事業は、地域社会の貢献にかかわり就業開拓につながります。登録会員は現在133名ですが、300名以上は必要です。また、8月末までに37件の依頼がありました。
 - シルバーの設立以来30年間のお客様がおられます。その間会員一人一人がたゆまぬ努力を惜しまなかった結果（信頼・笑顔・思いやり）でしょう。
 - 他の出張所にある「地域班長会」の結成を考えています。
 - 出張所から就業依頼があったら、特別の都合がない限り受諾してほしいと思います。

最後に、司会より長時間にわたる会合に対し、お礼の挨拶があり散会しました。

〈参考資料〉

地域懇談会のねらい

1. 会員相互及び役員、出張所との親睦交流を深め、仲間づくりの輪を広げる場。
2. センターの理念に基づく基本認識及び出張所の方針などの研鑽、浸透の場。
3. 出張所の事業状況や就業開拓などの情報交換の場。
4. 会員の意見や要望などを聞き、できるだけ運営に反映させて出張所運営への参加を高めたい。
5. 地域班長は将来的に地域会員による互選にて選出するようにしたい。そのためには、この懇談会の基礎をかためておきたい。

広報委員 高濱 一郎

城南

区

じょうなんく

好調な滑り出し 「ワンコインお助け隊」事業

福岡市内に住む65歳以上の高齢者を対象とした有償ボランティア事業「ワンコインお助け隊」が活動を始めてからおよそ4か月が経とうとしています。城南出張所の「ワンコインお助け隊」の現状をレポートしてみました。

「ワンコインお助け隊」の登録会員は8月末時点で44名。男女の構成比率は男性3、女性2です。同事業には、利用料金100円での実施項目と500円での実施項目とがあり、8月20日までの利用実績は次ページ表の通りです。

「ごみ出し」や「買い物」が多いのは、住宅地が多い城南区の特徴を表していると言えます。また、「植木の水やり」が多いのは、この夏の猛暑が影響しているものと考えられます。依頼件数は7区のうち、早良区に次いで多く、まずは順調な滑り出しをみせています。

「ワンコインお助け隊」事業が広く市民に認知されるにつれて、依頼件数も増加するものと思われます。今後の普及活動について、永富委員長は「区役所の保健福祉課や各地域の公民館、いきいきセンター、社会福祉協議会などに働き

「ワンコインお助け隊」実績件数 (平成 25 年 7 月 1 日から 8 月 20 日まで)

		城南	全体
100 円	ごみ出し30L・45L(1袋まで)	1	66
	ごみ出し15L(2袋まで)	1	4
	ストーブ等の灯油補給		0
	植木の水やり(15分程度)	17	82
	洗濯物取り込み		0
	回覧板の投函		0
	洗面台の掃除		0
	布団干し	1	2
	布団取り込み	1	2
	ネジ類の締め直し		1
蛍光灯・電球の交換 (シーリングライトを除く) 【買い置きあり】		8	
500 円	(新聞紙等の)資源物持ち出し	2	5
	(新聞紙等の)資源物仕分け	1	2
	洗濯物干し		1
	買い物(1時間以内・2袋まで)	9	23
	風呂場の掃除		2
	トイレ掃除		2
	簡易家具の組立(1時間以内) カラーボックス等	1	10
	公共料金等のコンビニ支払代行		2
シーリングライトの器具取付 取り外しを伴う蛍光灯の交換 【買い置きあり】		1	
合計		34	213
ボランティア登録会員数(人)		44	1,013

※城南区登録会員 44 名(男女比3:2)

かけて、積極的にPRしたいと考えています。その一環として9月18日、区の保健福祉課のケアマネージャーを対象に同事業について説明することになっています」と話しています。

順調に推移している「ワンコインお助け隊」事業ですが、気になることがないわけではありません。その一つは、同事業に参加する会員の収支バランスです。500円での実施項目は依頼者、会員共におおむね好評のようですが、100円での実施項目はそうとも言えないようです。と言うのも、配分金と経費とが逆転しているからです。例えば、ごみ出しをして100円を報酬として受け取るとしましょう。依頼先が歩いて行ける距離であれば問題はありません。しかし、依頼先に行くのに地下鉄やバスなどを使った場合、依頼を引き受ける度に確実に赤字になります。その他に連絡費用や事務処理のために出張所に出向く交通費なども必要となり、そう

なると、会員の手出し額はさらに膨らみます。「そうまでしてこの仕事を続けるかどうか。正直迷っている」と、戸惑っている会員もいます。また「100円の報酬をいただくより、いっそのこと無償の方がボランティアと割り切ることができ、すっきりする」と、有償ボランティアと無償ボランティアの狭間で揺れ動いている人もいます。会員の戸惑いをどう払拭するか。今後の課題となりそうです。

次に、気になるのが地域自治体との関係です。「ワンコインお助け隊」事業と同じような取り組みを町内会などの自治組織も始めていて、ある公民館からは「ワンコインお助け隊」のパンフレット配布をやんわりと断られる事態も発生しています。シルバー人材センターは、地域の自治組織の協力のもと、各種事業を展開してきました。地域の自治組織とは共存関係にありますので、今後は地域自治体とどう折り合いをつけるか。一考の余地がありそうです。

11月の行事予定

[地域懇親会]

- ◎堤・堤丘・長尾地区地域懇親会
11月8日(金)午前10時～12時
堤丘公民館にて開催
- ◎片江・南片江地区
11月15日(金)午前10時～12時
片江公民館にて開催

[親睦旅行]

- 今回も2班に分けて実施します。
- ◎日 時：第一班→11月12日(火)
第二班→11月13日(水)
- ◎目的地：大分県日田市(豆田町散策→サッポロビール工場見学→天ヶ瀬温泉で昼食及び入浴などの休憩)
- ◎参加費：3,000円
- ◎定 員：90名(第一班・第二班共に45名)

[事務所移転について](詳細はP23を参照)

新事務所へは11月16日(土)と17日(日)に引っ越し、業務開始は11月18日(月)です。

広報委員 藤 勇三

早良

区

さわらく

選挙立会人説明会開催



7月2日（火）の午後、早良出張所で福岡市選挙管理委員会の担当者から、選挙管理委員会が指定した病院や老人ホーム等における不在者投票での立会人について説明がありました。この立会人をシルバー人材センター会員にお願いしたいとのことでした。

公職の選挙では、選挙人が投票日に投票所で投票することを原則としていますが、投票することが出来ないと見込まれる選挙人のために投票日の前でも投票出来るように不在者投票制度が設けられています。

その一つとして、病院等に入院又は入所中の選挙人がその施設内で不在者投票を行うという方法があります。この立会人としての仕事の内容・心構え・留意事項等の説明がありました。

多数の立会人希望者は登録して要請を待ちましたが、残念ながら7月の参議院議員選挙では早良出張所への要請はありませんでした。次回を期待します。

「認知症サポーター養成講座」開講

7月12日（金）の午後、早良出張所の会議室で早良区地域保健福祉課主催の「認知症サポーター養成講座」が開講されました。40名のシルバー会員が1時間半の講義を熱心に受講しました。

《認知症サポーターとは…》



高齢者人口の増加による認知症対策として厚生労働省が2005年から始めたもので、地域で認知症の人達を支えることを目的として開講しているものです。

講師の「総合ケアセンターももち」の飯山さんと「昭代デイサービスセンター」の吉村さんの話は次の通りです。

《認知症とは…》

いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために様々な障害が起こり、生活する上で支障が出ている状態です。最も多いのは脳の神経細胞がゆっくりと死んでいくアルツハイマー病等の「変性疾患」と呼ばれる病気です。

《認知症の方への対応心得は…》

認知症に伴う認知機能低下があることを理解して、偏見を持たず認知症は自分たちの問題であるとの認識を持って対応することです。対応の心得として①驚かせない②急がせない③自尊心を傷付けない④話を否定しない⑤怒らないことです。

《認知症の予防方法は…》

- ①認知症の半数以上を占めるアルツハイマー病では、生活習慣（運動や食事）に気を配ることで、発症や進行を遅らせることが期待されます。
- ②仲間と一緒に楽しく過ごすことや趣味を持つなど、楽しく行動することです。

講演会開催

— いざという時の応急手当 —

7月26日（金）の午後、「安全・適正就業促進大会」の最後に、福岡市消防局早良署から福



有係長を講師にお迎えして『いざという時の応急手当』と題して講演会を開催しました。

講演の要旨は次の通りです。

《福岡市の救急体制》

福岡市の救急隊は27隊あり、27台の救急車が稼働している。出動件数は、昨年（平成24年）約66,000件あり前年比2.3%増で、早良署は3,500件であった。出動件数は都心部ほど多くなっており、早良署は5番目である。要請があってから平均6分20秒で到着しているが、「救急車の適正利用」によって一層改善することが可能と思っている。

《応急手当》

傷病者に遭遇したら救急車が到着するまでは是非お手伝い頂きたい。その方法は次の通り。

傷病者と遭遇したら…

- ①反応の確認…傷病者に近づき、耳元で「大丈夫ですか」「もしもし」等と呼びかけながら、傷病者の肩を軽く叩き反応があるかないかを確認する。
 - ②反応無い場合は周りに助けを呼ぶ。119番通報とAED手配する。反応ある場合は様子を見る。
 - ③呼吸をみる…胸と腹部の動きを見る。
 - ④呼吸をしていない場合…胸骨圧迫30回（1分間に100回程度のスピード）。出来れば30回の胸骨圧迫と2回の人工呼吸のサイクルを繰り返す（但し人工呼吸時は感染に注意）。
 - ⑤AEDが到着したら電源を入れて電極パッドを装着する。AEDの音声メッセージに従う。
 - ⑥救急車が到着したら救急隊員に任せる。
- 次に「火傷」「けいれん」「熱中症」「鼻血」等の症状別に対処方法が伝授されました。

地域班長会開催



8月22日（木）の午後に、出張所会議室で五島委員長・斉藤理事・岡崎監事をはじめ地域班長23名が出席して、隠岐副委員長の司会進行で開催されました。

まず、五島委員長から次のような話がありました。

1. 事業推進状況（4月～7月）

配分金は計画通りですが、前年比では92%と大きく下回っています。それは宿直業務の廃止及び西区の公園除草作業を西区に返還したことが大きな要因です。剪定・除草等関係は好調に推移しています。就業率は月平均56.9%で市全体の53.5%を上回っています。特に女性は59.6%と高く市全体での55.0%を大きく上回っています。会員数は7月末現在で1,041人、市全体では6,989人と減っています。

2. 連絡事項

- ①7月1日から「ワンコインお助け隊」事業がスタートしました。第1号の申し込みは7月12日でした。7月の会員の活動回数は26件で順調に推移しております。活動件数は早良出張所が7区で1番でした。
- ②「安全・適正就業促進大会」が7月26日（金）に開催されました。
- ③7月20日と27日の土曜日に、高取商店街の夜市で手芸班の展示即売が行われました。期待以上の売り上げがありました。
- ④地域懇談会を9月～11月に実施しますのでご協力をお願いします。
- ⑤9月17日（火）の午後に早良市民センターで「女性会員の集い」を開催します。次に、加藤安全担当から事故の状況について

説明がありました。

7月末現在の事故件数は、市全体では12件と前年比で7件の減少ですが、早良出張所は3件と前年比で2件増えているのは残念です。

次に、斉藤理事からは公共関係の話がありました。

最後に、質疑応答があり散会しました。

高取商店街の夜市に「手芸愛好会」が出店



7月20日と27日の土曜日に、早良出張所近くの高取商店街の夜市に手芸愛好会が出店しました。歩行者天国の道路は人出が多く、歩くのも困難な状況でした。

そんな中で延べ19人の会員は、蒸し暑さの中で汗を拭きながら手芸品を販売しました。成果は売上・品数とも計画以上に達成出来ました。

出店は今年が初めてで、出店が決まってから準備する時間が少なく、思うように商品が出来なかったようですが、来年は早めに準備をするとのことでした。

広報委員 高橋 勉

西

区

にしく

県シ連安全・適正就業パトロール

7月25日（木）西区長垂海浜公園において県シ連主催の安全・適正就業パトロールが行われました。



当日は本部より松田常務はじめ各理事、西出張所から城委員長と鈴木安全担当が参加し、県シ連からは安全・適正就業対策委員など3名と、行橋市シルバー人材センター理事長や大牟田市シルバー人材センター事務局長、福岡県新雇用開発課、労働局職業対策課の主査など関係者30名が参加して行われました。

就業会員の服装や刈払い機の用具、作業体制などの点検が行われ、「役割分担を明確にし熱中症対策に気をつけ、作業と休憩のメリハリをつけられており、安全就業に努めている様子が伺われ、大変良かった」との言葉を頂きました。

パトロールはその後本部会議室に場所を移し、松尾理事がセンターの安全・適正就業のヒアリング調査の結果と取組状況を報告され、「結果に満足することなく、一層の安全・適正就業に努めましょう」との言葉で終了しました。

第2回役員会開催



8月23日（金）西出張所大会議室で地域班長や職群班長30名を集め開催されました。

会議は瀧川副委員長の司会で始まり、まず城

委員長から資料に基づいて25年度事業実績の説明があり、続いて「ワンコインお助け隊」事業の登録会員数および実績の報告がありました。

また、25年度合同地域懇談会開催については、「昨年度より参加人数が増えるように地域班長の皆さんの力を借りたい」とお願ひがありました。

さらに、西出張所の就業会員の募集のお知らせを紹介するとともに、就業年限の遵守に言及し「一人でも多くの会員が就業できるようにお願ひしたい」との呼びかけがありました。

その後、不在者投票立会人の要請結果や事務補助職員と職群班長の交代について紹介がありました。

次に、鈴川安全担当から安全・適正就業について、加藤就業開拓員からはリーフレットの配布依頼があり、伊藤副委員長からは福祉・家事援助班の全体会議の案内がありました。

最後に、米川互助会業務委員から今後の互助会の行事の紹介があり、役員会は終了しました。

広報委員 塚原 義紀

早良区

就業先情報



株式会社てんぐ屋産業



福岡市西部の副都心である西新に、昔から「てんぐ屋さん」として親しまれている「株式会社てんぐ屋産業」様があります。早良街道に面して13階建と高く目立つビルが「てんぐ屋さん」の所有する「西新テングッドシティ」で、この中に「てんぐ屋さん」の本社と寝具販売部門の他にテナントとして「スーパーマーケット・ハローディ」「スポーツクラブ・ルネッサンス」等が入居しています。

「てんぐ屋さん」は大正7年（1918年）創業で大正・昭和・平成と歴史を重ねて95年となります。現在、人間の基本的な生活に関わる「寝具事業」と「不動産事業」の2本柱で、「感謝・団結・前進」を会社の理念として、社会貢献と業績向上の両立を目指しています。

「西新テングッドシティ」のテナント用駐輪場は、地下鉄の西新駅に近い朝から通勤・通学者の自転車が多く放置されてテナントは迷惑しています。オーナーの「てんぐ屋さん」の要請で、早良出張所から現在5名が交替で就業しています。日曜日を除く8時から10時まで毎日2人が組んで整理に当たっています。「てんぐ屋さん」の管理責任者から、「シルバーの皆さんは、長年の経験によって、仕事を円滑に遂行していますよ。大変満足しています。」とのお言葉を頂いています。放置者の対応は大変ですが頑張ってください。

広報委員 高橋 勉

ワンコインだより

今回のワンコインだよりは、実際に『ワンコインお助け隊員』として活躍されている隊員にお話を伺いました。

早良出張所会員 廣重 徹

ワンコインお助け隊員になって

私は、センターで市営駐輪場の仕事をしておりますが、4月に早良出張所で行われたワンコイン事業登録会員説明会に参加し「自分がお役に立てるなら」と考え、隊員として登録しました。7月末、出張所からワンコインの水やり作業の依頼がありました。お客様は、自宅の庭で水やりをしている最中に暑さのために気分が悪くなられ、困っておられたところ、福岡市の「ふくおか市政だより」でセンターの『ワンコインお助け隊』のサービス開始を知り、センターの早良出張所に電話をされたそうです。

早速、お客様の自宅を訪問し、作業内容を確認しました。ご要望は花や植木の水やりですが、私には名前も知らないような花や木ばかりでした。雨が降ったり、お客様のご都合が悪いときは中止とし、8月末まで週3日の作業でした。作業中、うれしかったことは、花が咲いたり、枯れかけていた木が元気になったりした時に、お客様から大変喜ばれたことです。結局、晴天と猛暑が続き9月までの作業に延長となりました。

お客様から、毎回、「助かっています。」と言って頂き、本当にやって良かったと思えるやりがいのある作業となりました。

今後も、ワンコインお助け隊員として活躍していきたいと思えます。



ワンコイン作業実績件数 (7月1日から8月31日まで)

項目	東	博多	中央	南	城南	早良	西	計	項目	東	博多	中央	南	城南	早良	西	計
ごみ出し	9	17	5	4	2	48	8	93	トイレ掃除	3							3
資源物持出・仕分		1	1	2	3			7	簡易家具組み立て					1	4	3	8
買い物	2	3	6		11	8	6	36	蛍光管・電球交換		3	1	1	1	3	2	11
植木の水やり	13		1	27	28	24	2	95	公共料金等支払代行			1					1
布団干し・取込				2			1	3	ネジの締め直し				1				1
風呂場の掃除	2					1		3	洗濯物干し・取込							2	2
									計	29	24	15	37	46	88	24	263

コラム

福岡市「見守り推進プロジェクト」へ通報を！

先日、出張所に、か弱い声での買い物依頼の電話が入り、その後、電話に出られないため、出張所より心配して自宅訪問をした事例がありました。幸いにご本人は外出されているだけということで大事には至らなかったとのことでした。

「ワンコインお助け隊」への単身高齢者からの依頼では、今後、このような場面に遭遇することは多くなると考えられます。

福岡市保健福祉局では、8月12日より官民一体となった「見守り推進プロジェクト」を開始しておりますので、地域の見守り活動者の一員として、「ワンコインお助け隊」活動の中で、孤立死などの疑いがあり、安否確認等が必要な場合は、24時間365日対応の

「見守りダイヤル (080-9100-0883)」に通報をお願いします。

(明らかに倒れているなどの緊急時は「119番」へ)

平成25年度会議開催状況 (8月～9月)

●理事会

回	開催月日	議案
6	8月28日(水)	・シルバー人材センター正会員の入会
7	9月25日(水)	・シルバー人材センター正会員の入会

●総務部会(委員長理事の会議)

回	開催月日	議案
5	8月21日(水)	・未収金対策 ・出張所事務補助職員の就業等に関する取扱いの改正(案) ・普及啓発促進月間の取り組み
6	9月18日(水)	・未収金対策 ・城南区自転車駐車場の指定管理者申請の状況 ・出張所事務補助職員への年休付与

●業務部会(専任担当理事の会議)

回	開催月日	議案
5	8月16日(金)	・業務部会の取り組み状況 ・普及啓発促進月間の取り組み
6	9月20日(金)	・業務部会の取り組み状況 ・城南区自転車駐車場の指定管理者公募申請の状況 ・普及啓発促進月間の取り組み

●合同部会(総務部会と業務部会の合同会議)

回	開催月日	議案
4	8月28日(水)	・平成25年度第5回「総務部会」及び第5回「業務部会」の報告 ・平成25年度7月「事業実績」
5	9月25日(水)	・平成25年度第6回「総務部会」及び第6回「業務部会」の報告 ・平成25年度8月「事業実績」

●安全・適正就業対策委員会

回	開催月日	議案
5	8月21日(水)	・事故状況 ・審議事項 ・度数率・強度率
6	9月18日(水)	・事故状況 ・審議事項

平成 25 年度実績報告

平成 25 年 8 月末現在 ● 会員数 6,929 名 ● 就業者数 4,241 名
 男性 4,544 名 ● 就業率 53.5%
 女性 2,385 名 ● 事業収入 8 億 5,332 万円

平成 25 年度事故発生状況

平成 25 年 8 月末現在 ● 傷害事故 6 件 (前年同期 14 件 前年比 - 8 件)
 ● 賠償事故 6 件 (前年同期 10 件 前年比 - 4 件)
 ● 自動車事故 5 件 (前年同期 4 件 前年比 + 1 件)
 ● 累計 17 件 (前年同期 28 件 前年比 - 11 件)

■ 傷害事故 (7 月 1 日～8 月 31 日)

日付	就業中 途上	性別	年齢	仕事内容	事故の状況	傷害の程度		
						入院	通院	手術
8/23	途上	女	73	屋内作業	自転車で就業先に向かう途中、先方の自転車が会員の自転車を追い越した際、会員の右肩に接触して転倒。		○	
8/28	途上	男	78	剪定	自転車で就業先に向かう途中、交差点横断後に自転車に乗ろうとしたところ、バランスを崩して転倒。		○	

■ 損害賠償事故 (7 月 1 日～8 月 31 日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
7/9	男	69 他 2 名	刈払除草 (公園)	垣根付近を刈払作業中、刈払機(ナイロンカッター使用)で飛ばした石が駐車している車に当たり、リアガラスを破損。(刈払作業 1 名、ネット張り作業 2 名)
7/18	男	68	駐輪場	駐輪場で利用者の自転車のタイヤに空気を入れていた際、後輪のタイヤが破裂。(空気を入れて少し経った後でタイヤが破裂したため、タイヤが劣化していたと思われる。)
8/7	男	73	屋内清掃	スポーツクラブの浴槽内を清掃中、排水するため排水弁を開けた際、浴槽で付け置き洗いをしていた足拭きマットを排水口に流した。

■ 自動車事故 (7 月 1 日～8 月 31 日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
7/12	男	68	剪定	剪定車両走行中、荷台に積載していた枝が落下して、後方の車両バンパーに接触。
8/19	男	72	刈払除草	南出張所裏駐車場でダンプをバックして駐車した際、出張所倉庫に衝突し、倉庫の扉を破損。
8/27	男	66	自転車 撤去	車両運転中、駐車車両を避けるため右側に進路変更した際、センター車両(レンタカー)荷台の右前方と対向車の右リアフェンダーが接触。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 自転車事故について ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

就業途上の自転車での事故が、ここ最近で特に急増しています。

事故の傾向として

- ① 自転車同士の衝突 (一方的に衝突された被害事故も含む)
- ② 自転車運転する際、無理な運転をし転倒。

就業に行く際、自転車を利用する会員が気を付けることとして

- ① 就業に行く際、時間に余裕を持つこと。
- ② 交差点は、特に事故の発生確率が高いため、速度を落とす・停車して前後左右を確認するなど交通ルールを守ること。
- ③ 信号や横断歩道のないところを横断しないようにすること。
- ④ 夕方から夜間は、歩行者が見えづらく、自動車からも見えづらいため、自転車の運転に細心の注意を払うこと。

田島八幡神社



田島村（現在の田島、茶山、友丘、笹丘、友泉亭、梅光園、輝国）の鎮守として、地域住民に慕われてきました。

正月三が日を除いて、普段はひっそりとしたたたずまいを見せる同神社が、最も活気づくのが7月の第二土曜日（今年は7月14日）です。この日は神社の夏祭り（早苗祭）が催される日。境内には露店が所狭しとたち並び、いつもの静寂が嘘のように近在の老若男女、浴衣姿の子どもたちであふれ返ります。



田島八幡神社は田島神楽で広く知られています。福岡市で唯一の神楽で、市の無形民俗文化財に指定されており、毎年、夏祭り当日の午後2時半頃から午後7時頃にかけて奉納されています。今年は「両刀」「久米の舞」など全11演目が奉納され、県内外から多くの見物客がカメラ片手に訪れていました。

同神楽の起源については、かつて干ばつを避けるために毎年樋井川沿いにある薦が淵（こもがふち）に人身御供をしていたのですが、人々はこれを恐れ、悲しみ、人身御供に代えて神社に神楽を奉納するようになったと伝えられています。

田島八幡神社の近くには、黒田家ゆかりの友泉亭や1732年（享保17年）の大飢饉で犠牲になった人を弔うために建立されたという地藏尊もあり、秋の散策にはうってつけのコースと言えます。

樋井川に架かる田島橋から西に100 mほどのところに田島八幡神社（田島4-3-19）があります。境内には、市の保存樹に指定されている樹齢数百年という楠や銀杏、榎などがそびえ、訪れる人を包み込んでくれます。創建時期は定かではありませんが、1330年の地図に田島の地名が記されていますが、その頃にはすでに八幡神社があったとされています。もっとも、当時は現在地でなく、友泉亭辺りにあったようで、1503年（戦国時代初期）に現在地に移り、

互助会だより

歴史探訪報告



平成 25 年 9 月 26 日（木）快晴、中央区の天神中央公園に 9 時 30 分集合、10 時出発 2 時間の予定で実施し、163 名の方に参加していただきました。

今回は博多から福岡へと趣を変え、まち歩きを計画いたしました。

1. 福岡・中洲コース 参加者 72 名・7グループ
福岡・博多のルーツ探すと、激動の明治に生まれた福岡市を歩く

2. 天神南コース 参加者 41 名・4グループ
天神エリアに残る歴史遺産をみつけ、路地に残る町名に古をみる歩き

3. 天神北コース 50 名・5グループ
福岡市発展の軌跡を路地裏に・福岡藩の城下町を歩く



出張所毎に受付終了後、コース毎の旗の下に集合、各コース 10 名単位のグループを作り準備完了、互助会石崎会長から歓迎の挨拶、業務委員から注意・お願い事項を連絡。各グループについては、ガイドさんに一任していたので、出発前にはガイドさんと綿密な打ち合わせを行い出発となりました。

各グループ三々五々公園に戻り、最終 16 組目のグループが戻ってきたのは 12 時過ぎでした。各グループとも笑顔でガイドさんと談笑される姿が見受けられ、楽しかった、勉強になったとの声を多く側聞できたので、十分とはいえないが目的が達成されたものと互助会業務委員も安堵したところです。

公園に戻って弁当を受け取られ、持ち帰る方、公園のベンチや芝生の上で弁当を開かれ、交友を深める姿が見受けられました。今回も 1 時過ぎには自由解散となりましたが、スムーズな運営と事故なくできましたことは、会員の皆さま関係各位のご協力と深く感謝いたします。来年も多数の方が参加されることをお待ちしております。

早良区互助会業務委員 天野 俊貴

今後の参考とするためアンケート調査をお願いしたところ、142 枚回収（回収率 87.11%）することができました。厚くお礼申し上げます。

アンケート内容（一部）については、以下の通りです。

1. 天神・中洲コース

- ・いつも歩いていた所でも、目に付かない事など知り、楽しい探訪でした。
- ・水鏡天満宮と鏡天満宮の違いが理解できた。
- ・福岡に住んでいながら寄った事のない場所、もう一度歩きたいです。
- ・赤煉瓦文化会館の中に入りたかったとの意見が多数ありました。

2. 天神南コース

- ・日頃は車で通り抜けるだけの町、詳しい説明を聞き感動しました。
- ・「香正寺」あんな所に立派なお寺がありびっくり。
- ・天神の周りは詳しくないのでとても良かった。

3. 天神北コース

- ・日常天神には来ていますが、ガイドして頂き勉強になりました。
- ・よく通る道でも見過ごしていた所が多くあったが、説明していただき良かった。
- ・天神の町をただ単に通り過ぎていましたが、あらためて福岡の歴史を知ることが出来ました。
- ・安国寺の梵鐘の響きには感動され、皆さんが印象に残ったとの事。



互助会サークル活動紹介

東 区

将棋愛好会

芦塚 隆

平成 21 年 4 月、将棋を通じて会員相互の親睦と健康増進を図るべく設立され、今年で 5 年目を迎えました。現在会員数は 15 名で、東香園を舞台に年間数回の定期大会を開催しています。対局となると、腕自慢の強者たちが真剣な面持ちで頭脳をフル回転させて、舌戦も含め勝負を楽しんでいます。決着がつくや、お互い笑顔に戻って、悔しがったり健闘を讃え合ったりの感想戦に興じるのが何より楽しみです。ボケ防止にも一役かっているのでは？



博多 区

日向ひよっこ会

会長 櫻井 厚宏

9月の第2日曜日、博多出張所 1 F 会議室。誰もいない事務所の一角で赤い着物に白い帯、白いフンドシをつけ、豆絞りの手ぬぐいをかぶったキツネ、おかめそしてひよっこが、笛、鐘、太鼓の軽快なリズムにのって踊っていました。

「日向ひよっこ会」の皆様です。

互助会の一環として、5月に発足しました。

20名（男性10名・女性10名）の会員が田中会員の指導のもと、月2回の練習を重ねています。

将来は福祉施設の慰問も含めて社会福祉に貢献したいとのことでした。

踊り終わった会員は、満足感と解放感で素晴らしい笑顔でした。



会員のひろば

『疾風に勁草を知る』

南出張所 高濱 一郎

疾風に^{けいそう}勁草を知るとは、「激しい風が吹いてはじめて丈夫な草が見分けられる」という中国の故事で、「困難に遭って初めて人間の価値や強さが分かる」ことを意味し、私の心の励みにしています。

人間はどんな人でもそれぞれに悩みや苦しみをいっぱい抱えて生きています。誰にも言えないものを……。今更、15年前の苦悩を述べることは恥の意識や外聞が悪いのですが、一切を捨てて事例を述べたいと思います。

- ① 入院された上司から指示・命令が多く、毎日のように職場の実態を報告する。児童増によりマンモス学校となり、校区内に新設校の建設で職員ともども心身が^{こんぱい}疲労困憊しました。善意で努力するも認められない悔しさと悲しさの連続の日々でした。
- ② 退職後、公民館で勤務しますが事務職員との意思疎通がうまくいかなかったこと、私の体調不良で2か月の入院生活などがあり、翌年は町教育長の温かい配慮によって図書館勤務を3年間させて頂きました。健康の有難さや感謝の念を身にしみて感じた楽しい年月でした。
- ③ 酒席で、人が他人の悪口を聞くのは軽く受け流せるのに、自分の言動や嫌な風潮を小耳に挟むとそのことが気になり、自尊心を傷つけられたようで腹が立つことしばしばありました。
- ④ 会議を終えて学校に戻り、「ただいま」と挨拶をすると、二人のうちの一は気持ちよく笑顔で「お疲れ様でした」と言ってくれたのに、もう一人の人は何も言わなかった。どういう風の吹き回しかと考えてしまいます。「挨拶と返事は人間の基本的な条件」、「大人の先生が教室

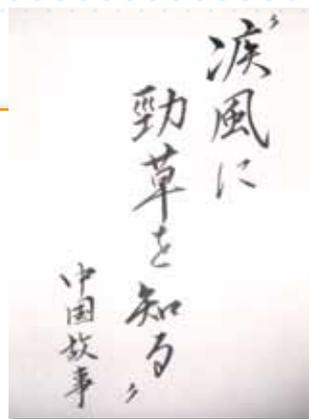
では子どもたちに挨拶についてどう指導しているのだろうか」と疑問を抱きました。

今の私ならどのように対処するだろうか。まず自分が変わらなければいけない、自分の最大の敵は人ではなく自分であること、失敗したからといって自分ばかりを責めないで自分の成長ぶりを好きになること、すべての責任は自己責任であるから他人のせいにはしないことだと確信します。

具体的には自分の弱い心を支配する強い心(=もう一人の自分)にするためには、一つは自分が自由にできる孤独の時間を持つことです。自分の過去の人生を肯定しながら、前よりも一歩前進したようだとされる点をノートにメモしておくことも大切と思います。もう一つは、何でも気軽に相談できて数多くの見地から物事を眺めることのできる人が2~3名いると安心です。さらに好きな作家や評論家の講演会、音楽会に参加して自己の心の安らぎとし、生きる糧にしてください。

野球のイチロー選手は「苦悩というのは、前進したいって思いがあって、それを乗り越えられる可能性のある人にしか訪れない。だから苦悩とは飛躍なのです」と語っています。彼は苦悩を肯定的に捉えています。

これからは「風雪に耐えただけ土の中に根が張るんだ」と強い信念を持ち、残された人生を牛歩のごとく一足一足着実に前進したいと思います。



まだまだ「シルバーだより」表紙写真募集!

～あなたのお気に入りの一枚を
シルバーだよりの表紙にしませんか～

下記の福岡のお祭りの写真を募集します。応募作品は広報委員会にて選定します。会員番号と氏名を明記し、出張所又は本部にご応募ください。なお、作品は返却します。

号	6月号	8月号	10月号	12月号	2月号
祭り	博多 祇園山笠	放生会	流鏝馬	玉せせり	猿田彦神社 初庚申
場所	櫛田神社 (博多区)ほか	筥崎宮(東区)	飯盛神社 (西区)	筥崎宮(東区)	猿田彦神社 (早良区)
応募締切	終了	終了	終了	11月15日	1月15日

※表紙に採用されれば、薄謝を進呈いたします。

中央出張所及び城南出張所の移転と 電話番号等の変更について

11月18日(月)より中央出張所・城南出張所は薬院大通センタービル
壱番館(中央区薬院4丁目)へ移転します。

また、電話番号及びFAX番号も下記のとおり変更となりますのでお知
らせ致します。

業務開始日 平成25年11月18日(月)

移 転 先 中央区薬院4丁目1番27号
薬院大通センタービル壱番館306号

※最寄り駅等 地下鉄七隈線薬院大通駅徒歩1分、西鉄バス薬院大通り徒歩約1分



電話番号・FAX番号

中央出張所	電 話	092-526-4680
	F A X	092-526-4688

城南出張所	電 話	092-526-4681
	F A X	092-526-4688

※FAX番号は移転後、中央出張所、城南出張所で同じ番号になります。

事務局からのお知らせ

重要なお知らせ

センターと類似した名称を名乗る業者等にご注意ください。

シルバー人材センターと類似した名称を名乗り、作業をする業者がいるとの情報が寄せられています。
センターは、類似した名称を名乗る業者とは一切関係がありません。

会員の皆様は、就業の時は必ず会員手帳を携帯し、お客様に求められた場合には会員証の提示ができるようにしておきましょう。



平成25年度 会費の口座振替について

シルバーだより8月号(Vol.131)でお知らせしましたとおり、9月20日に会費の口座振替を実施しましたが、預金残高の不足などで口座振替ができなかった方がいます。

上記の方につきましては、再度口座振替を実施しますので、実施日の前日までに、登録の預金口座への入金をお願いいたします。

◎口座振替実施日 平成25年11月20日(水)

■■ 会費の口座振替「未登録」の方へ ■■

会費の納入がお済みでない方は、お早めに納入ください。

口座振替の登録をしている方は、配分金等の払込口座から会費を納入することができます。金融機関へ出向いて納入する必要がなく、金融機関へ支払う手数料もかかりません。

まだ口座振替の登録がお済みでない方は、是非この機会にご登録ください。



今年の夏は、35度以上の猛暑日が続きました。

9月の東区花火大会も終わり、涼しくなるかと思われたが30度以上の真夏日がまだ続いています。やはり異常気象？

まずは、体調に注意し、健康を維持しましょう。

(K・Y)

「ふくおかシルバーだより」 発行元／公益社団法人 福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目21-16

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

[HP] <http://www.fukuoka-sjc.org/> [e-mail] honbu@fukuoka-sjc.org